

行田市のキホン

世帯数 **35,626**世帯
 人口 **78,826**人
 男性 **39,055**人 女性 **39,771**人
(令和4年11月1日現在)



埼玉県行田市は、国宝「金錯銘鉄剣」が出土した稲荷山古墳をはじめ、日本最大級の円墳である丸墓山古墳など、9基の大型古墳が群集する「埼玉古墳群」を有し、埼玉県名発祥の地として知られています。
 また、市内には永い眠りから目覚め開花した行田蓮(古代蓮)など42種類約12万株の蓮の花が咲く「古代蓮の里」、江戸時代の忍藩十萬石の歴史を今に伝える「忍城址」、足袋の産地を物語る「足袋蔵」が点在する風情あるまち並みなど、豊かな自然と歴史が息づくまちです。



行田市民憲章

昭和50年11月3日制定



前文

わたくしたちは埼玉県名発祥の地 恵まれた自然と輝かしい歴史をもつ行田の市民であることに誇りと責任を感じます
 わたくしたちはみんなのしあわせを願ってさらに明るく豊かな住みよい郷土をつくることを誓いこの憲章を定めます

本文

自然を生かし美しいまちをつくります
 郷土を愛し文化のまちをつくります
 仕事に誇りをもち豊かなまちをつくります
 思いやりの心で住みよいまちをつくります
 きまりを守り明るいまちをつくります

友好都市

行田市は平成10年11月9日、福島県白河市、三重県桑名市と友好都市を締結しました。
 3市は、文政6年(1823年)、江戸幕府の命令による3藩間の大掛かりな国替で、藩主が入れ替わった歴史的なつながりがあります。行田市を治めていた忍藩主の阿部正権が白河藩へ、白河藩主の松平定永が桑名藩へ、桑名藩主の松平忠純が忍藩に移りました。

白河市

福島県の南部中央に位置する市です。西に高くそびえる那須連峰を望む、歴史と文化の息づくまちで、周辺部は緑の山々に囲まれ、豊かな自然環境に恵まれています。



桑名市

三重県の北部に位置する市で、東海道の要衝として栄えた城下町です。城下町の名残は城跡だけではなく、まちのたたずまいや数多くの老舗などからも感じられます。

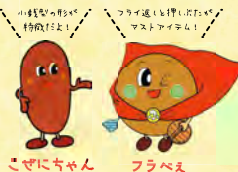


行田市キャラクター

さまざまなジャンルのキャラクターが行田市を盛り上げています!

こぜにちゃん&フラベス

行田のご当地グルメのゼリーフライとフライのイメージキャラクターです。こぜにちゃんは、「銭フライ」と呼ばれていたのがなまり、名前がつけられました。フラベスは、行田の方言「〜べえ」という言葉から、愛称がつけられています(ご当地グルメは35ページ)。



行田豆吉

「行田在来青大豆」のイメージキャラクター。青大豆の特徴である青みがかった顔とおでこの英がトレードマーク!